

平成 24 年 10 月 15 日

総務省 総合通信基盤局
電波部 電波政策課 御中

郵便番号 105-7317
(ふりがな)
住 所 東京都港区東新橋一丁目 9 番 1 号
(ふりがな)
氏 名 ソフトバンクモバイル株式会社
代表取締役社長兼 CEO 孫 正義

郵便番号 105-7316
(ふりがな)
住 所 東京都港区東新橋一丁目 9 番 1 号
(ふりがな)
氏 名 ソフトバンクテレコム株式会社
代表取締役社長兼 CEO 孫 正義

郵便番号 105-7304
(ふりがな)
住 所 東京都港区東新橋一丁目 9 番 1 号
(ふりがな)
氏 名 ソフトバンクBB株式会社
代表取締役社長兼 CEO 孫 正義

当該意見募集に関しまして、今回このような意見募集の機会を設けていただいたことに、厚く御礼申し上げます。

「電波の利用状況の調査の見直し案に対する意見の募集」に関し、別紙のとおり意見を提出します。

尚、問い合わせ等は、下記連絡先で対応致しますので、宜しくお願い致します。

(連絡先)

電話番号

電子メール

意見書

1. 電波の発射状況調査について（別紙 4 の P1）

（1）電波の発射状況調査は、携帯電話システムの他にも、FPU・ラジオマイク等周波数移行が検討されている無線システムや、無線 LAN や RFID 等の免許不要局についても調査の対象とするべきであると考えます。

（2）電波の発射状況調査を 1 システムにつき年間 7 日程度の実測を行う場合、朝のみの使用や年間数日程度しか使用しない等無線システムにより使用タイミングが異なり、年間 7 日程度の実測のみでは調査結果に偏りが出る可能性があるため、年間 365 日のうち使用していない日及び 24 時間のうち使用している頻度等を明確にするべきであると考えます。これにより、より一層電波の見える化が推進されることが考えます。

平均的な日の状況を調査するためには、1 年間 365 日の調査が必要であり、公表にあたっては 1 システムごとに以下の状況の公開が望ましいと考えます。

- ・年間 365 日の使用状況
- ・各四半期で平均的な日
- ・年間で最も使用されている日
- ・年間で最も使用されていない日
- ・上記の日を更に詳しく調査し、24 時間の 1 時間ごとの状況

（3）この電波の発射状況調査の実施にあたっては、これを実施する機関が必要となりますが、出来るだけ現状の組織を活用し、新たなシステムの構築においても費用が最小限となるよう配慮するべきであると考えます。

2. 電波の利用状況調査の見直し案の周波数区分の見直しについて（別紙 3）

現在「3.4GHz 超」とされている周波数帯区分は、第 4 世代携帯電話システムの導入が予定されている 3.4～4.2GHz 帯が 800MHz 帯や 2GHz 帯等の携帯電話システムと同一の周波数区分として調査が可能となるよう「714MHz 超 4.2GHz 以下」及び「4.2GHz 超」に変更するべきであると考えます。

以上